

## 授業改善に取り組む先生を応援しています！

### 職場体験活動の教育効果について

#### 高知県の現状

(全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙における肯定的回答の割合)

「将来の夢や目標を持っている」児童生徒が減少傾向にある

小学6年生	R5	80.2%	R4	78.1%	R3	81.0%
中学3年生	R5	68.8%	R4	71.3%	R3	72.9%

#### 職場体験やインターンシップ(就業体験)の教育効果

- 異世代とのコミュニケーション能力の向上が期待されること
- 生徒が自己の職業適性や将来設計について考える機会となり主体的な職業選択の能力や高い職業意識の育成が促進されること
- 学校における学習と職業との関係についての生徒の理解を促進し学習意欲を喚起すること
- 職業の現場における実際の知識や技術・技能に触れることが可能となること

令和3年度 文部科学白書 第2部 文教・科学技術施策の動向と展開  
第4章 初等中等教育の充実 第5節 キャリア教育・職業教育の推進  
1. キャリア教育の推進  
(2) 職場体験、インターンシップ(就業体験)等の体験活動の推進

#### 高知のキャリア教育3本柱

学力向上	基本的な生活習慣の確立	社会性の育成
・基礎学力の定着 ・思考力、判断力、表現力の育成 ・自ら考え、自ら学ぶ力の育成 など	・規則正しい生活リズムの育成 ・規範意識の育成 ・家庭学習の習慣化 ・読書の習慣化 など	・郷土を愛する心の育成 ・自他を認めあう心の教育 ・公共心の育成 ・コミュニケーション能力の育成 ・勤労観・職業観の育成 ・将来を見通す力の育成 など

社会的・職業的自立

キャリア教育に関する総合的研究(令和元年7月～10月実施) ※全国調査

#### 小学校

職業に関する体験活動の実施は児童の学習意欲の向上に影響していると考えられる。

- 適性、職業選択、働き方、生き方について考えるといった目標を重視して体験活動を実施することは、児童の学習意欲を向上させると考えられる。
- 児童が日常の学習に意義を見出し、主体的に学校生活を送ることと職場見学の実施は何らかの関わりがあると考えられる。
- 体験活動の成果を共有し、それらを今後の進路や生き方とつなげて考えさせることで、学校生活に対する児童の積極性が向上していると推察される。
- 「キャリア・パスポート」を活用して学習経験と進路を接続する取組は効果が高く、児童の学習意欲の向上に寄与している。

#### 中学校

充実した事前指導・事後指導を伴う職場体験活動は生徒のキャリア発達を促す可能性がある。

- 体験活動では、計画段階での重視点が実施段階での実際の指導の差としてあらわれる。
- 職場体験活動及び事前指導・事後指導を重視している学校の生徒は、キャリア教育で育成を目指す「基礎的・汎用的能力」を高く自己評価している。

全国キャリア教育・進路指導担当者研究協議会配付資料より

高知県の公立中学校における職場体験の実施率47.4% (R4年度県調査より)

取組を推進していただきますようお願いいたします。

来月号→ 他県の職場体験学習に関する実施例について紹介

## 令和5年度 「高知の授業の未来を創る」 推進プロジェクトにおける実践研究協働校事業

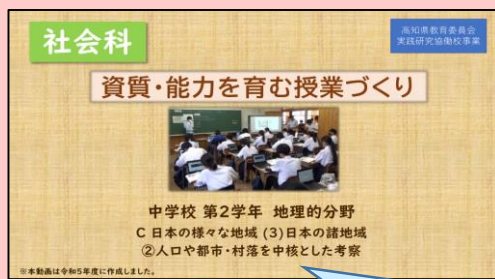
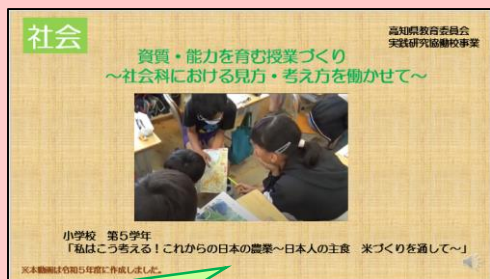
NEW

令和5年度  
ガイドライン・授業解説動画を掲載中！

小学校・中学校の社会科の授業解説動画が、教職員ポータルサイトにてご視聴になれます。日々の授業づくりに是非ご活用ください！

中村小学校 第5学年：社会科

中村中学校 第2学年：社会科



児童が社会科の見方・考え方を働かせながら、日本の米作りについての自分の考えを形成している姿が紹介されています。

人口減少や地域おこしの取組について、多面的・多角的に考察し、今後の地域社会を考える生徒の姿が紹介されています。